



## 日本初！ドミニカ共和国と都市間交流協定締結 松戸市×コンスタンサ市パートナーシップシティへ

松戸市は、平成27年より、ドミニカ共和国と東京オリンピック・パラリンピックのホストタウン交流事業、及び、同国コンスタンサ市で松戸市の特産品の梨を栽培するための技術支援事業を実施しております。また、同国コンスタンサ市消防局へ中古消防車両の寄贈の手配を進めるなど、多岐にわたる交流を継続しています。

この度、両市は、更なる連携体制の構築のため、パートナーシップ協定を締結します。この協定は、姉妹都市協定に準ずるものであり、農業、スポーツ、教育、文化、環境の5分野において特段連携を強化することを約束するものです。これまでの梨栽培支援、ホストタウン交流に加え、両市の大学間の連携、市民交流、SDGs 係る取り組みを行ってまいります。本市と海外都市との都市間協定は、オーストラリア、ホワイトホース市との姉妹都市提携（1971年）以降、2件目となります。

つきましては、オンラインを介して両国同時にパートナーシップ協定の調印式を執り行います。また、本協定は、日本とドミニカ共和国において、初の姉妹都市協定に準ずる都市間協定であることから、ドミニカ共和国外務副大臣が本国より来日し、証人として署名を行います。

●日 時 令和4年11月30日(水) 9時~9時45分

●場 所 松戸市役所新館5階 市民サロン

- 次 第
1. 本郷谷健次 市長あいさつ  
ファン アグスティン ル ナ ロラ
  2. Juan Agustin Luna Lora コンスタンサ市長あいさつ  
ホセ フリオ ゴメス
  3. José Julio Gómez ドミニカ共和国外務副大臣あいさつ
  4. 出席者紹介
  5. 調印式
  6. 記念撮影

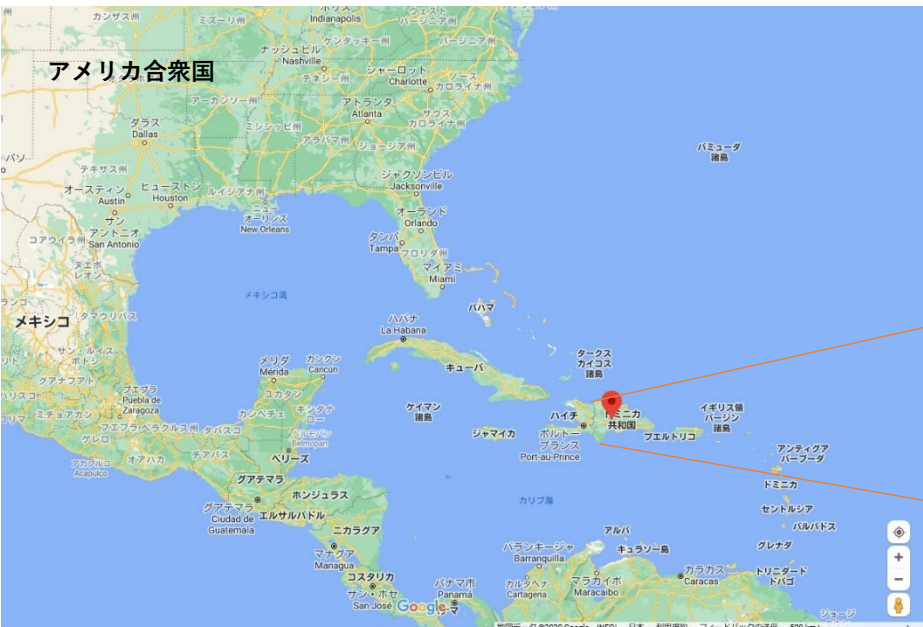
●添付資料 別紙1 コンスタンサ市地図  
別紙2 経緯

### 【本件に関する問い合わせ先】

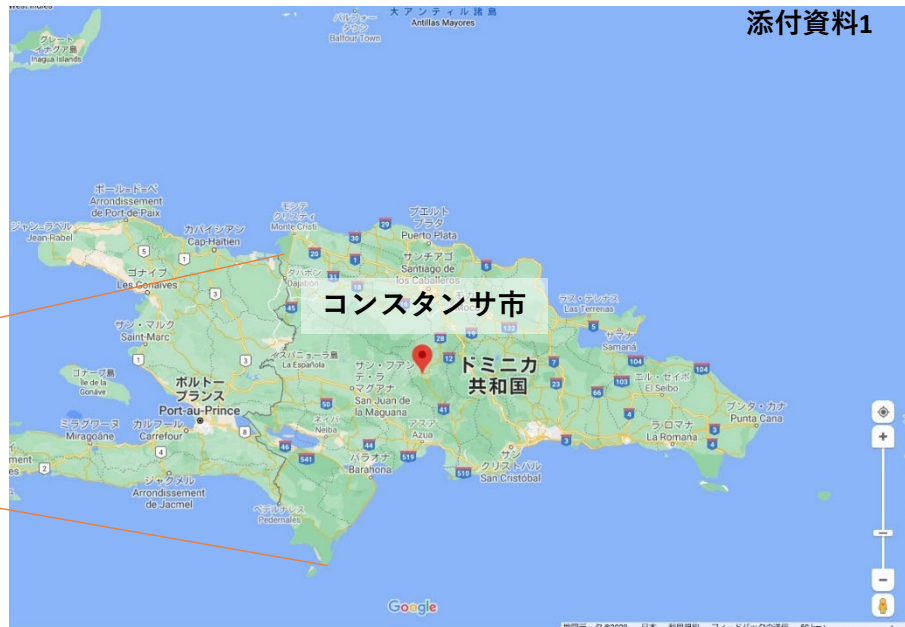
〒271-8588 千葉県松戸市根本387-5

松戸市経済振興部国際推進課 ☎047-710-2725

FAX047-363-2653 ✉ [mckokusai@city.matsudo.chiba.jp](mailto:mckokusai@city.matsudo.chiba.jp)



ドミニカ共和国：日本からアメリカ経由で約20時間



ドミニカ共和国：カリブ海地域の中央に位置する



コンスタンサ市：首都サントドミンゴから中心地まで、車で約2時間30分（約140km）

出典：Google map

	コンスタンサ市	松戸市
面積	850.4km <sup>2</sup>	61.38km <sup>2</sup>
人口	59,052	496,884



梨の栽培地



街並み



平成 27 年 9 月	<p>「駐日外交団地方視察ツアー」実施          参加した駐日ドミニカ共和国大使館エルネスト・トーレス・ペレイラ公使（当時）が梨の育成に関心を示す</p>
平成 28 年 6 月	<p>本市副市長（当時）を団長とする訪問団による梨育成に関する現地調査、及び東京 2020 大会の事前キャンプ招致に関する協議を実施</p>
平成 28 年 11 月	<p>本市と農地庁による梨の栽培に係る「覚書」を締結</p> 
平成 28 年 12 月	<p>本市が東京 2020 大会のドミニカ共和国のホストタウンに決定</p>
平成 29 年	<p>条件を満たす梨の選定</p>
平成 30 年 1 月	<p>本市訪問団がドミニカ共和国へ渡航          第 1 回梨の専門家派遣</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農地庁関係者及び一般農家に事業説明会を開催（約 50 名参加）</li> <li>・梨の苗木 25 本と種子を圃場に植樹</li> </ul> <p>東京オリンピックで事前キャンプを実施するため、本市施設の視察のための関係者招聘を協議</p> 
平成 30 年 3 月	<p>松戸市内さくらの名所見学ツアー開催          参加国：ドミニカ共和国・エルサルバドル・パナマ・ウルグアイ・ベネズエラ・コスタリカ・ペルー・キューバ</p> 

<p>平成 30 年 6 月</p>	<p>本市訪問団がドミニカ共和国へ渡航                  第 2 回梨の専門家派遣                  ・ コアメンバーと一般農家にセミナーを実施（52 名参加）                  事前キャンプ実施のための本市視察についてドミニカ共和国オリンピック委員会・各競技連盟と具体的内容を協議</p> 
<p>平成 30 年 8 月</p>	<p>ドミニカ共和国 3 競技連盟（ソフトボール、バレーボール、テコンドー）代表が本市施設を視察。本市を事前キャンプ地とする覚書を締結</p> 
<p>平成 30 年 10 月</p>	<p>第 1 回ドミニカ共和国研修員受け入れ                  農地庁生産部長 ミゲル・カレリン・サンチェス 氏（当時）                  農地庁コンスタンサ支所長 カレリン・フェルナンデス 氏（当時）                  コンスタンサ市長 アンビオリクス・サンチェス 氏（当時）</p> 
<p>平成 31 年 2 月</p>	<p>第 3 回梨の専門家派遣                  ・ 農地庁、農務省、環境省、コンスタンサ市役所を訪問                  ・ 接ぎ木を指導（コアメンバー及び農業生産組合員 10 名）                  ・ 移植候補地として、バジェ・ヌエボ、ピラ・ポピーを視察</p> 
<p>平成 31 年 3 月</p>	<p>『外務省主催 平成 30 年度 Juntos!! 中南米対日理解促進プログラム ドミニカ共和国派遣事業』に流通経済大学の学生 2 名を派遣。</p>



<p>令和元年 6 月</p>	<p>第 4 回梨の専門家派遣</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 農地庁、農務省、コンスタンサ市役所、日本国大使館を訪問</li> <li>・ 農地庁長官主催のセミナーにて、梨の専門家がコアメンバーと一般農家に梨の 1 年間の栽培サイクルを解説</li> </ul> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>
<p>令和元年 10 月</p>	<p>第 2 回ドミニカ共和国研修員受け入れ          農地庁コンスタンサ管理者 ダリオ・モレノ・モレノ 氏          農業法人アグロ・コンスタンサ ファン・ディエゴ・ゴメス 氏</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div>
<p>令和元年 10 月</p>	<p>平成 30 年 1 月に植樹した苗木 3 本から 5 個の実を収穫。糖度は</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div> <p>13.75 度（梨の平均的な糖度は 12.5 度）。</p>
<p>令和元年 11 月</p>	<p>ドミニカ共和国体操競技連盟代表が本市施設を視察。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div>
<p>令和元年 12 月</p>	<p>第 5 回梨の専門家派遣</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 農業生産組合及び近隣住民組合に、セミナーを実施（20 名参加）</li> </ul> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div>

令和2年1月	<p>本郷谷健次市長を団長とする訪問団が、ドミニカ共和国を訪問</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事前キャンプ実施に向けて、オリンピック委員会・各競技連盟と協議</li> <li>・体操競技連盟と、本市を事前キャンプ地とする覚書を締結</li> <li>・苗木が植えられているコンスタンサ市の圃場を視察</li> </ul> 
令和2年2月	<p>文化観光国際課長と担当者が、ドミニカ共和国を訪問</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・JICA現地事務所、日本国大使館、農地庁、コンスタンサ市役所訪問</li> <li>・現地法人ドミニカ日系人協会訪問</li> </ul>
令和2年3月～現在	<ul style="list-style-type: none"> <li>・梨の専門家派遣（新型コロナウイルス感染症のため中止）の代わりに、リモートによる栽培指導を実施</li> <li>・メールやビデオ会議による隔週の報告及び四半期ごとの報告書の作成</li> </ul>
令和2年9月	<p>平成30年1月に植えた苗木8本に19個、令和元年1月に植えた種から生育した18本に26個の実を確認</p> 
令和2年11月	17個の実を収穫
令和2年12月	梨の種1,000粒を送付し、現地で播種
令和3年2月	<p>駐日ドミニカ共和国大使が本郷谷市長を表敬訪問</p> 
令和3年3月	本市の梨プロジェクトがJICA草の根技術協力事業採択
令和3年5月	JICA 東京所長が市長表敬訪問



<p>令和3年7月</p>	<p>ドミニカ共和国テコンドー選手団の事前キャンプを実施</p> 
<p>令和3年7月</p>	<p>「日本梨をラ・クラタ地区の特産品にする産地形成プロジェクト」第1回プロジェクトチームを開催</p> 
<p>令和3年8月</p>	<p>ロベルト・タカタ特命全権大使が観光梨園訪問</p> 
<p>令和3年8月</p>	<p>ロベルト・タカタ特命全権大使から、ホストタウン事業に係る感謝状授与</p> 
<p>令和3年10月</p>	<p>「日本梨をラ・クラタ地区の特産品にする産地形成プロジェクト」第2回プロジェクトチームを開催</p>
<p>令和3年10月</p>	<p>在ドミニカ共和国日本国大使館 高木昌弘特命全権大使による市長表敬訪問</p> 
<p>令和3年10月</p>	<p>在ドミニカ共和国日本国大使館 牧内博幸前特命全権大使を訪問</p>

<p>令和3年12月</p>	<p>JICA 職員による梨園訪問</p> 
<p>令和4年3月</p>	<p>「日本梨をラ・クラタ地区の特産品にする産地形成プロジェクト」 第3回プロジェクトチームを開催</p>
<p>令和4年4月</p>	<p>コンスタンサ市への寄贈消防車お披露目</p> 
<p>令和4年4月</p>	<p>「日本梨をラ・クラタ地区の特産品にする産地形成プロジェクト」 令和4年度第1回プロジェクトチームを開催</p> 
<p>令和4年5月</p>	<p>日本梨をラ・クラタ地区の特産品にする産地形成プロジェクト 現地調整員渡航</p>
<p>令和4年6月</p>	<p>日本梨をラ・クラタ地区の特産品にする産地形成プロジェクト チームメンバー渡航</p> 